



SDGs の実現につながる阪大の研究や学びに触れるイベント
高校生のための SDGs@HANDAI 2022
 7/25(月) 8/2(火) 8/18(木) @大阪大学会館

❖ 概要

大阪大学では、夏休み期間中 3 回にわたり、高校生を対象に SDGs をテーマにした公開講座「高校生のための SDGs@HANDAI」を開催します。

このイベントでは、SDGs の実現に繋がる本学の幅広い分野の研究や学びに直接触れられる機会を提供します。それにより、高校生自身が

- ① SDGs に対する理解を深めること
- ② 高校の「総合的な探究の時間」などでの探究活動のテーマ設定のヒントを得ること
- ③ 進路選択の参考になること

を目的として昨年よりスタートし、全国から延べ 900 名の高校生が参加しました。

今年度は全 3 回のうち、第 1 回・第 3 回は講義形式で行い、テーマに「新型コロナウイルス感染症パンデミック」「防災・減災」を取り上げます。各回文・理それぞれの分野で第一線の研究者が話をすることで、文理の境界を越えた俯瞰的な視点を提供します。また、第 2 回は参加型のワークショップです。フューチャー・デザインと称する新しい学問に基づき、実在する市の施策を題材として大阪大学で考案したカードゲームを用いて、未来の視点から持続可能な社会を考えます。

つきましては、本イベントの積極的なご周知と当日のご取材・出席をお願い致します。

❖ イベント概要

【日 時】

◆第1回 感染症パンデミックが私たちに問いかけること[講義形式]

2022 年 7 月 25 日(月) 14:30~17:30

◆第2回 フューチャー・デザインワークショップ～持続可能な社会を考える～

2022 年 8 月 2 日(火) 10:00~16:00

◆第3回 誰にとっても安全で持続可能なまちづくりとは～防災・減災の視点から～[講義形式]

2022 年 8 月 18 日(木) 14:30~17:40

【実施方法】第 1 回・第 3 回：会場参加またはオンライン、第 2 回：会場のみ

【会場定員】第 1 回・第 3 回：200 名、第 2 回：80 名

【場 所】大阪大学会館(豊中キャンパス)

【対象者】高校生、高校教員

【参加費】無料

【詳細・参加申込 URL】要事前申込 <https://chega.osaka-u.ac.jp/event/202205103534/>



The poster for 'SDGs@HANDAI 2022' features a colorful design with the event title in large, stylized letters. It includes a detailed program schedule on the right side, listing three main events with their respective times and topics. The first event is on July 25th (Monday) at 14:30-17:30, focusing on infectious diseases. The second event is on August 2nd (Tuesday) at 10:00-16:00, a workshop on future design. The third event is on August 18th (Thursday) at 14:30-17:40, focusing on disaster prevention and reduction. The poster also mentions that the events are held at Osaka University's main campus and provides contact information for inquiries.

Press Release

❖ イベント詳細

【プログラム】

◆第1回 (7/25(月)) 感染症パンデミックが私たちに問いかけること

14:30~14:40 開会あいさつ

西尾 章治郎 大阪大学 総長

14:40~15:40 「感染症対策に経済学？」

大竹 文雄 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授 (常勤)

15:50~16:50 「感染症と免疫学研究 –わかったこと、まだわからないこと–」

伊勢 渉 大阪大学 感染症総合教育研究拠点 教授

17:00~17:30 阪大生と SDGs 「不安な時代に寄りそう社会心理学」

山縣 芽生 人間科学研究科 博士後期課程 3 年

◆第2回 (8/2(火)) フューチャー・デザインワークショップ～持続可能な社会を考える～

10:00~16:00 ワークショップ

倉敷 哲生 大阪大学 工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 教授

若本 和仁 大阪大学 工学研究科環境エネルギー工学専攻 准教授



◆第3回 (8/18(木)) 誰にとっても安全で持続可能なまちづくりとは～防災・減災の視点から～

14:30~15:30 「まちの「命」を継承する防災まちづくり」

木多 道宏 大阪大学 工学研究科地球総合工学専攻 教授

大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ 副長

先導的学際研究機構「新たな防災」を軸とした命を大切にす未来社会研究部門

15:40~16:40 「誰もが<助かる>社会へ: SDGs を支える考え方」

渥美 公秀 大阪大学 人間科学研究科長・教授

先導的学際研究機構「新たな防災」を軸とした命を大切にす未来社会研究部門

16:50~17:15 阪大生と SDGs 「人と人を繋げるための言語学」

田尾 俊輔 言語文化研究科 博士後期課程 3 年

17:15~17:40 「大阪大学の教育プログラム～未来社会の創造に挑戦する人材の育成～」

田中 敏宏 大阪大学 統括理事・副学長

【講演概要 (第1回・第3回)】

●「感染症対策に経済学？」大竹 文雄 (大阪大学 感染症総合教育研究拠点 特任教授 (常勤))

新型コロナウイルス感染症対策で役立つ学問と言えば誰でも医学を思い浮かべるでしょう。しかし、感染対策やワクチン接種という行動変容は、心理学や行動経済学と呼ばれる分野で研究されています。また、緊急事態宣言のような強い感染対策は、社会経済活動に悪影響を与えます。社会経済活動と感染対策を両立させるためには、経済学の考え方が重要です。経済学者として新型コロナ対策分科会委員としてどのような議論をしてきたかをお話します。

- 「感染症と免疫学研究 –わかったこと、まだわからないこと–」伊勢 渉（大阪大学 感染症総合教育研究拠点 教授）

新型コロナウイルスパンデミックと mRNA ワクチンの登場によって、ヒトの免疫学研究が一気に加速しました。免疫システムの精巧かつしたたかな働きがわかった一方で、未解明の問題が多く残されていることも事実です。本講義では、感染症の克服に向けてこれからの免疫学は何に取り組むべきか？について考えてみたいと思います。また大阪大学の免疫学研究や研究者の日常についても紹介する予定です。

- 「まちの「命」を継承する防災まちづくり」木多 道宏（大阪大学 工学研究科地球総合工学専攻 教授）

人と同じように、まちにも「命」があります。そして、「命」ある存在には、人生のテーマやミッションがあります。今回は、大災害からの復興の経験や、災害常襲地域における時間を超えた「事前復興まちづくり」の取り組みを紹介しながら、まちの「命」とは何か、まちの人生のテーマとは何かを見出し、まちが災害を乗り越え、未来へと輝き発展するための都市計画とまちづくりについて考えるとともに、SDGs の目標が「命」の持続的発展へと通じていることに思いを巡らせてみます。

- 「誰もが＜助かる＞社会へ：SDGs を支える考え方」渥美 公秀（大阪大学 人間科学研究科長・教授）

防災活動は、災害が発生した時に、誰もが助かる社会を目指して行うもので、誰一人取り残さないという SDGs の考えに支えられています。専門家主導の防災第 1 世代から、NP0 などが主催する防災第 2 世代を経て、防災をまちづくりに織り込んでいく防災第 3 世代へと進んできた経緯を紹介します。SDGs を支える考え方が腑に落ちて、誰もが助かる社会を創造していく仲間になってくださることを願っています。

【ワークショップ概要（第 2 回）】

フューチャー・デザインとは、将来世代に持続可能な社会を引き継いでいくための社会の仕組みや社会システムをデザインしようとする新しい学問です。

このワークショップでは、2060 年の未来の視点から、実在する市の施策を大阪大学で考案したカードゲームを用いて一緒に考えます。

SDGs でも用いられているバックカスティングの考え方を体感できる内容となっています。